

健康づくりは
幸せづくり

Making Health
is making happiness



第64期

株主通信

平成29年4月1日～平成30年3月31日

Contents

株主の皆様へ	P.1
営業の概況（連結）	P.3
研究開発の状況	P.5
研究開発パイプライン	P.6
生産物流の状況／次期の見通し	P.7
株主様ご優待のお知らせ	P.8
トピックス	P.9
財務諸表（連結）	P.11
会社情報	P.13
株式情報	P.14
株主メモ	



ゼリア新薬

ZERIA



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第64期の事業概況に関しまして、ここに
報告させていただきます。

代表取締役社長兼COO
伊部 充 弘

代表取締役会長兼CEO
伊部 幸 顕

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦や米国の金融政策、さらには朝鮮半島を巡る政治情勢等
のわが国経済に及ぼす影響について、依然として不透明感が払拭できない状況が続いてはいるものの、雇用・所得
環境の改善を背景に緩やかな回復基調を辿りました。

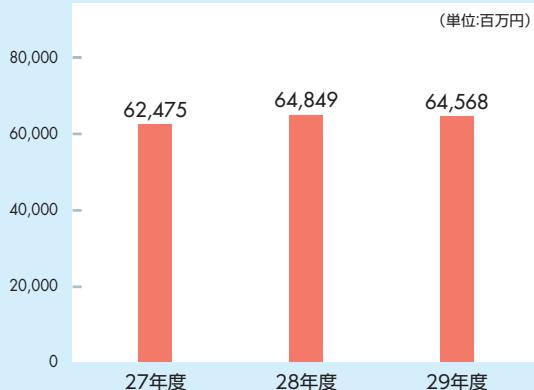
医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、医療費抑制策の一環として薬価制度の抜本的な見直しが実施さ
れるとともに、後発医薬品の使用促進が従来にも増して強力で推進されており、またOTC医薬品市場におきまし
ても市場競争の激化が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは平成29年度を起点とした3カ年の第9次中期経営計画(平成29年度～平成
31年度)をスタートさせました。初年度である当連結会計年度においては、グローバル展開を加速させるとともに、
医療用医薬品事業とコンシューマーヘルスケア事業を力強く成長させるべく経営資源の積極的な投入を行って
まいりました。

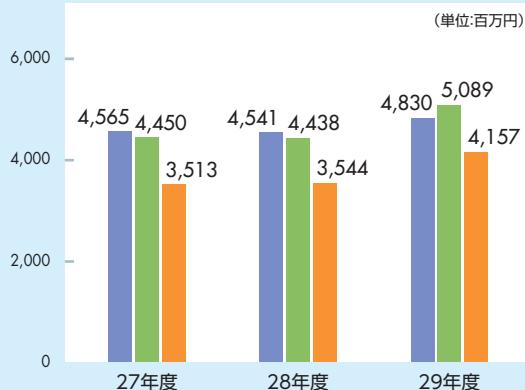
これらの活動の結果、当連結会計年度は、売上高645億68百万円(前期比0.4%減)となったものの、堅調な海外
業績の寄与に加え、研究開発費等の経費の効率的な使用に努めたことにより、営業利益48億30百万円(前期比
6.4%増)、経常利益50億89百万円(前期比14.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益41億57百万円(前期比
17.3%増)と、いずれも前期比増益となりました。

なお、当連結会計年度の海外売上高比率は26.3%(前期24.6%)となっております。

売上高



営業利益 (■) / 経常利益 (■) / 親会社株主に帰属する当期純利益 (■)

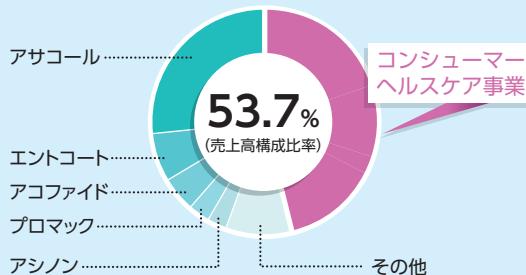


医療用医薬品事業

売上高

345億83百万円 (前期比 **0.4%増**)

主要製品売上高



アサコール	169.8
エントコート	44.6
アコファイド	33.0
プロマック	20.5
アシノン	18.0

医療用医薬品事業連結売上高(単位:百万円)



当事業におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR(医薬情報担当者)の資質の向上と医療機関への学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」は、国内におきましては、平成29年5月に1日1回の用法・用量の承認を取得し、製品競争力の向上に努めましたが、後発品や競合品の影響により苦戦いたしました。一方、海外におきましては、英国や北欧での伸長などにより順調に売上を拡大し、全体としては増収を確保いたしました。また、炎症性腸疾患治療剤「Entocort」(国内販売名:「ゼンタコート®」)につきましては、国内におきまして、平成29年12月に投薬期間制限が解除となり長期処方が可能となったこともあり、着実に売上を拡大いたしました。また、海外の一部の地域において、AstraZenecaからの販売移管後の営業展開が計画対比遅れた影響もあり、全体では微増収に止まりました。さらに、機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」につきましては、売上を拡大中ではありますが、市場構築が計画対比遅れる状況となっており、引き続き内視鏡実施医療機関を中心に潜在的な機能性ディスペプシア患者の掘り起こしに努め、進展を図っております。なお、平成29年11月に「インフリキシマブBS点滴静注用100mg「日医工」」の日医工株式会社との共同プロモーションを開始し、炎症性腸疾患治療の選択肢の提供と製品ラインアップの強化に努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、345億83百万円(前期比0.4%増)となりました。

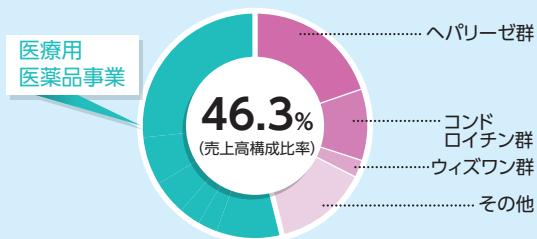


コンシューマーヘルスケア事業

売上高

298億31 百万円 (前期比 **1.5% 減**)

主要製品売上高



ヘパリーゼ群	128.4億円
コンドロイチン群	65.9億円
ウィズワン群	16.4億円

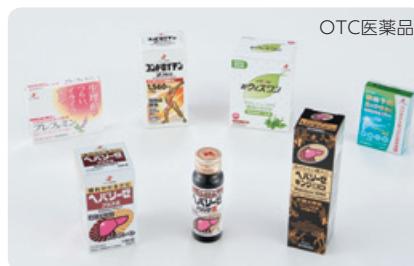
コンシューマーヘルスケア事業連結売上高 (単位:百万円)



当事業におきましては、超高齢社会が進展する中、生活者のセルフメディケーションをサポートする製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

主力製品群である「ヘパリーゼ®群」につきましては、テレビCMなどの広告宣伝活動を積極的に展開し、製品認知度の向上を図ってまいりました。また、当連結会計年度におきましては、新製品を2品目(「ヘパリーゼ®スーパー粒タイプ」、「ヘパリーゼ®Wプレミアム 粒タイプ」)発売し、製品ラインアップを強化いたしました。これらの拡販策の結果、引き続き売上を拡大いたしました。なお、平成30年4月発売の「ヘパリーゼ®Wプレミアム極(きわみ)」の出荷を同年3月より開始いたしました。また、植物性便秘薬「ウィズワン®群」につきましても、便秘薬市場が縮小する中、着実に売上を拡大いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては、市場競争の激化により苦戦いたしました。しかし、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、引き続き圧倒的な市場シェアを堅持しております。

これらの結果、当事業の売上高は、298億31百万円(前期比1.5%減)となりました。



研究開発の状況

研究開発部門におきましては、自社オリジナル品の国内外における臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績のある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

最重点領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、「Z-206(アサコール®)」は、協和発酵キリン株式会社と共同で潰瘍性大腸炎を対象とした、1日1回の用法・用量を追加するフェーズⅢを実施し、平成29年5月に承認を取得いたしました。また、中国での開発につきましては、フェーズⅢを終了し、平成25年5月に承認申請を実施済みで、現在中国当局による審査が進められております。

自社オリジナル品の「Z-338(アコファイド®)」につきましては、欧州において機能性ディスペプシアを対象としたフェーズⅢを実施しております。

スイスVifor (International) AGから導入いたしました鉄欠乏性貧血治療剤「Z-213」につきましては、フェーズⅢを終了し、平成30年3月に製造販売承認申請を実施いたしました。

「Z-100」につきましては、子宮頸癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅢ国際共同治験を実施しております。

「Z-360」につきましては、膵臓癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅡ国際共同治験を

実施しております。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、引き続き西洋ハーブ製剤の開発を進めるとともに、新製品を順次発売いたしました。

Tillotts Pharma AGは欧州を中心に下部消化器疾患治療薬の開発を進めております。新技術を適用した改良型メサラジン製剤「TP05」につきましては、潰瘍性大腸炎を対象としてフェーズⅢを終了し、平成29年1月に欧州において承認申請を実施済みであります。

なお、EAファーマ株式会社から導入した長時間作用型プロトンポンプ阻害剤「Z-215」およびTillotts Pharma AGが米国Cancer Prevention Pharmaceuticals, Inc.と共同開発を実施してまいりました家族性大腸腺腫症治療剤「TP09」につきましては、両プロジェクトの開発計画を再検証した結果、いずれも開発を中止することといたしました。

一方、平成30年3月にVifor (International) AGより新たに高カリウム血症治療剤「Veltassa(一般名:Patiromer)」の導入を決定し、臨床試験の準備を進めております。

これらの活動の結果、当連結会計年度の研究開発費は前年度実績から減少し、73億31百万円(前期比13.3%減)となりました。

研究開発パイプライン

● 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(平成30年5月11日現在)

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
承認申請中	Z-213／カルボキシマルトース第二鉄	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品
フェーズⅢ (アジア共同試験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ (アジア共同試験)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品
臨床準備中	Patiromer	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性ポリマー	導入品

発売となった開発品

発売日	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	備考
平成29年 5月18日	Z-206／メサラジン (アサコール®用法・用量追加)	ゼリア (協和発酵キリンとの 共同開発)	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整剤	自社(Gr)品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
承認申請中 (中国)	Z-206／メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338／アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
承認申請中 (欧州)	TP05／メサラジン	Tillotts Pharma	潰瘍性大腸炎	OPTICORE DDS技術	自社(Gr)品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338／アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ (アジア)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品:自社グループオリジナル品

ご参考

フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)

フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)

フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少人数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法をプラセボ*と比較しながら調べます。

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

*プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

生産物流の状況／次期の見通し

● 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進めてまいりました。生産関連部門では、より高い品質の確保とともに製造原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。一方、物流関連部門では、物流費が高騰する状況下ではありますが、さらなる業務の効率化によりコストの低減に努めてまいりました。

なお、前連結会計年度に生産能力の増強を目的としたリニューアル工事を完了した筑波工場におきましては、増強された設備を活用し、「ヘパリーゼ®群」などのドリンク剤の安定供給に対応しております。

● クローズアップ

ヘパリーゼ®W粒タイプの新製品発売

肝臓エキス、ウコンエキス（クルクミン）、黒コショウ抽出物、コンドロイチンなどを配合した栄養補助食品「ヘパリーゼ®Wプレミアム 粒タイプ」を、全国のコンビニエンスストアにて発売しました。

「ヘパリーゼ®Wプレミアム 粒タイプ」の特長

● 携帯に便利な粒タイプ

「ヘパリーゼ®Wプレミアム」と同量の肝臓エキス250mgに加え、ウコンエキス（クルクミン）を3粒に凝縮。携帯に便利な包装にしました。

● 他にもうれしい成分を配合

その他にもコンドロイチン、ビタミン類、クルクミンの吸収を高める黒コショウ抽出物を配合しました。



● 次期の見通し

平成31年3月期（平成30年度）の連結業績につきましては、売上高680億円（前期比5.3%増）、営業利益52億円（前期比7.7%増）、経常利益52億円（前期比2.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益43億円（前期比3.4%増）と予想しております。

売上高

医療用医薬品事業につきましては、国内においては薬価引き下げや後発品の影響を受けて厳しい状況が続くものの、海外市場での「アサコール®」、「Entocort」の伸長と、国内における「アコファイド®」や「ゼンタコート®」の市場展開により、増収を見込んでおります。また、コンシューマーヘルスケア事業につきましても、「ヘパリーゼ®群」をはじめとした主力製品の牽引により、増収を見込んでおります。

利益

研究開発費、広告宣伝費等の経費の増加が見込まれるものの、売上高の増加により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに増益を見込んでおります。

	第64期	第65期(予想)
売上高	645億68百万円 (前期比 0.4%減)	680億円 (前期比 5.3%増)
営業利益	48億30百万円 (前期比 6.4%増)	52億円 (前期比 7.7%増)
経常利益	50億89百万円 (前期比 14.7%増)	52億円 (前期比 2.2%増)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	41億57百万円 (前期比 17.3%増)	43億円 (前期比 3.4%増)

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。

当社株式1,000株以上をご所有の株主様にはA～F、6つのコースからご希望のいずれかを、100株以上1,000株未満をご所有の株主様にはGコースをお届けいたします。

ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

A
コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・特定保健用食品
「アルミ缶入りドリンク・ヘパリーゼ®Wセット」



B
コース

健康飲料
「コンドロビー®
濃縮液潤甦®
(じゅんこう)」
2本セット



C
コース

美容・健康商品
「コンドロマックス®・アポスティ®セット」



D
コース

コンドロイチン配合夜間集中美容液
「ZZ:CC® (ジージー・シーシー)
アドソープ
エッセンス(30g)」
2本セット



E
コース

上質なうるおいを実感する3品目
「IONAベーシックスキンケア3点セット」



F
コース

高純度コンドロイチン、天然イオン配合で年齢肌
にハリとうるおいを
「イオナR
スペシャルケア
2点セット」



G
コース

肝臓エキス・ウコンエキス配合ドリンク
「ヘパリーゼ®W」10本



鉄欠乏性貧血治療剤「Z-213」を製造販売承認申請

当社は平成30年3月29日に、「鉄欠乏性貧血」を適応症とする鉄注射剤（一般名：カルボキシマルトース第二鉄）について、厚生労働省に製造販売承認申請を行いました。

本剤は、Vifor (International) AG（本社：スイス ザンクト・ガレン）が開発した、カルボキシマルトース第二鉄を有効成分とするデキストラン非含有静注鉄補充療法剤です。経口鉄剤が無効または使用できない鉄欠乏症の治療剤として、現在までに世界75ヵ国で承認されております。当社は、日本の鉄欠乏性貧血の治療においても、本剤が新たな選択肢となり、患者さんや医療関係者の皆様に貢献できるものと期待しております。

高カリウム血症治療剤「VELTASSA」の日本国内における独占的開発および販売の契約を締結

当社は平成30年3月に、Vifor (International) AGと高カリウム血症治療剤「Veltassa（一般名：Patiromer）」の日本国内における独占的開発および販売に関する契約を締結しました。

高カリウム血症は血中のカリウム濃度が異常に高くなった状態で、慢性腎疾患（CKD）、高血圧、糖尿病や心不全の患者で高率に発症し、致命的な不整脈や突然死につながる深刻な状況になることがあります。

「Veltassa」は経口で服用すると、腸管内で過剰なカリウムを結合して便とともに排泄され、高カリウム血症を改善します。用法は1日1回の服用で、においや味がほとんどなく、服用しやすい製剤です。

米国では平成27年12月より販売されており、また、ヨーロッパでは平成29年7月に欧州医薬品庁から承認を取得しております。当社は「Veltassa」が日本国内においても高カリウム血症治療の新たな治療選択肢になるものと期待しております。

ヘパリーゼ®Wシリーズ最上位の「ヘパリーゼ®Wプレミアム極（きわみ）」新発売

当社は平成30年4月2日より、「ヘパリーゼ®Wプレミアム極」（清涼飲料水）を、全国のコンビニエンスストアにて販売開始しました。

これまでに「ヘパリーゼ®Wプレミアム」をはじめとする、ヘパリーゼ®Wシリーズをコンビニエンスストアにて販売し、大変好評をいただいております。

このたび、肝臓エキスをヘパリーゼ®Wシリーズ最大の400mgに増量し、からだに嬉しい成分を新配合した「ヘパリーゼ®Wプレミアム極」をラインアップに加え、健康を気遣う方々をサポートしてまいります。

「ヘパリーゼ®Wプレミアム極」の特長

ヘパリーゼ®Wシリーズ最上位を極めた製品

ヘパリーゼ®Wシリーズの最大量となる肝臓エキス400mgとウコンエキス（クルクミンとして45mg）、コンドロイチンを配合。さらにオルニチン300mg、ローヤルゼリー、シークワサーエキスを新たに配合しました。

キリッとした飲みごたえの和柑橘味

キリッとした飲みごたえの和柑橘味に仕上げました。肝臓エキスを増量しても、これまで同様おいしく飲みやすい味となっています。

豪華なラベル

ラメ入りの黒地に金のホットスタンプ、銀色の「極」の文字。高級感のあるラベルをデザインしました。



財務諸表(連結)

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度	科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在			平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在
[資産の部]				[負債の部]			
流動資産		38,764	39,255	流動負債		45,178	36,159
現金及び預金		9,250	10,166	支払手形及び買掛金		2,272	2,072
受取手形及び売掛金		16,620	15,613	短期借入金		33,061	24,926
たな卸資産		8,608	9,375	その他		9,843	9,160
繰延税金資産		718	750	固定負債		5,674	14,230
その他		3,599	3,372	長期借入金		2,884	8,676
貸倒引当金		△33	△22	退職給付に係る負債		757	750
固定資産		75,592	76,830	資産除去債務		54	54
有形固定資産		24,154	23,340	その他		1,978	4,748
建物及び構築物		8,252	7,709	負債合計		50,853	50,390
機械装置及び運搬具		3,764	3,267	[純資産の部]			
土地		11,698	11,701	株主資本		57,928	54,773
建設仮勘定		58	292	資本金		6,593	6,593
その他		379	370	資本剰余金		11,685	11,685
無形固定資産		33,884	32,337	利益剰余金		39,654	42,096
投資その他の資産		17,553	21,152	自己株式		△5	△5,600
投資有価証券		9,206	6,935	その他の包括利益累計額		5,423	10,758
繰延税金資産		31	25	その他有価証券評価差額金		231	752
退職給付に係る資産		7,686	13,571	為替換算調整勘定		2,520	3,260
その他		670	659	退職給付に係る調整累計額		2,670	6,745
貸倒引当金		△41	△40	非支配株主持分		152	163
資産合計		114,357	116,086	純資産合計		63,504	65,696
				負債・純資産合計		114,357	116,086

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
売上高		64,849	64,568
売上原価		18,168	18,341
売上総利益		46,680	46,226
返品調整引当金戻入額		58	48
返品調整引当金繰入額		48	38
差引売上総利益		46,691	46,235
販売費及び一般管理費		42,149	41,405
営業利益		4,541	4,830
営業外収益		337	490
営業外費用		440	231
経常利益		4,438	5,089
特別利益		810	691
特別損失		327	203
税金等調整前当期純利益		4,920	5,577
法人税、住民税及び事業税		600	869
法人税等調整額		744	524
当期純利益		3,575	4,183
非支配株主に帰属する当期純利益		31	25
親会社株主に帰属する当期純利益		3,544	4,157

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		7,238	8,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		△703	1,563
財務活動によるキャッシュ・フロー		△8,982	△9,628
現金及び現金同等物に係る換算差額		△644	159
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）		△3,092	916
現金及び現金同等物の期首残高		12,210	9,118
現金及び現金同等物の期末残高		9,118	10,034

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単位：百万円、端数切捨て）

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	6,593	11,685	39,654	△5	57,928	231	2,520	2,670	5,423	152	63,504
当期変動額											
剰余金の配当			△1,716		△1,716						△1,716
親会社株主に帰属する当期純利益			4,157		4,157						4,157
自己株式の取得				△5,595	△5,595						△5,595
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						520	739	4,074	5,334	10	5,345
当期変動額合計	—	—	2,441	△5,595	△3,154	520	739	4,074	5,334	10	2,191
当期末残高	6,593	11,685	42,096	△5,600	54,773	752	3,260	6,745	10,758	163	65,696

会社概要

創 立	昭和30年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,753名(連結)
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売および輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売および輸出入

役員

代表取締役 会長兼CEO	伊 部 幸 顕
代表取締役 社長兼COO	伊 部 充 弘
取締役副社長	遠 藤 広 和
常務取締役	岸 本 誠
取 締 役	小 森 哲 夫
取 締 役	野 本 亀久雄
取 締 役	加 藤 博 樹
取 締 役	平 賀 義 裕
取 締 役	石 井 克 幸
取 締 役	河 越 利 明
取 締 役	吉 島 光 之
取 締 役	草 野 研 治
取 締 役	西 岡 裕 康
常勤監査役	降 旗 繁 弥
常勤監査役	高 見 幸二郎
監 査 役	中 由 規子
監 査 役	若 林 博 史

事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 東京第3営業所
- 神奈川営業所
- 埼玉営業所
- 千葉営業所
- 北関東営業所
- 甲信越営業所
- 名古屋支店
- 静岡営業所
- 大阪支店
- 大阪第2営業所
- 神戸営業所
- 京滋営業所
- 北陸営業所
- 中四国支店
- 岡山営業所
- 高松営業所
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 札幌物流センター
- 東京物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

- 出張所 青森・宇都宮・関越・高崎・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄

連結子会社 13社

- Tillotts Pharma AG (スイス)
- ZPD A/S (デンマーク)
- ゼリアヘルスウエイ株式会社
- Tillotts Pharma AB (スウェーデン)
- Tillotts Pharma Ltd. (アイルランド)
- Tillotts Pharma UK Ltd. (英国)
- Tillotts Pharma Czech s.r.o. (チェコ)
- Tillotts Pharma Spain S.L.U. (スペイン)
- Tillotts Pharma GmbH (ドイツ)
- Tillotts Pharma France SAS (フランス)
- イオナ インターナショナル株式会社
- 株式会社ゼービス
- Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd (ベトナム)

株式の状況

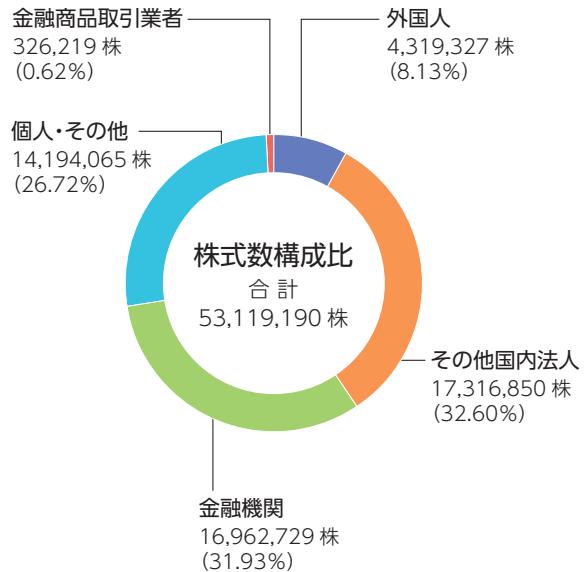
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	53,119,190株
③株主数	12,124名

大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	4,741,847	9.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,300,100	4.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,107,050	4.2
森永乳業株式会社	2,040,215	4.1
伊部幸顕	1,592,967	3.2
株式会社三井住友銀行	1,406,131	2.8
株式会社みずほ銀行	1,406,053	2.8
株式会社りそな銀行	1,182,385	2.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,109,600	2.2
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,105,044	2.2

(注)出資比率については、自己株式(2,743,545株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移

株価(円)

2,500 -

2,000 -

1,500 -

1,000 -

500 -

0

出来高(千株)

6,000

5,000

4,000

3,000

2,000

1,000

0

平成29年
4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

平成30年
1月

2月

3月

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金のお支払いについて**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **「配当金計算書」について**
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様に付きましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。



<http://www.zeria.co.jp/>



ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351(代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
<http://www.zeria.co.jp/>

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬
ZERIA